

THE 3RD HOUSING DESIGN CONTEST

COLLABORATION PLAN 2021

第3回 2021 住宅設計デザインコンテスト



国立大学法人 山形大学
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL:023-628-4006
<https://www.yamagata-u.ac.jp>

株式会社 菊池技建
〒990-2481 山形市あかねヶ丘1-11-24
TEL:023-643-7558
<https://kikuchigiken.co.jp>

章和ホーム 株式会社
〒999-2232 南陽市三間通38-1
☎0120-400-133
<https://www.showa-inc.jp>



株式会社 菊池技建



章和ホーム 株式会社

地元工務店と連携し、 山形の気候 に適した設計を学ぶ。

山形の気候・風土、生活に適した住宅のあり方を考え、本当に快適な住まいを究める



株式会社 菊池技建 専務取締役 菊池 信二



章和ホーム 株式会社 代表取締役 川井 秀智

地域の課題解決、地域振興に貢献する人材を育成

「住宅設計デザインコンテスト」は、山形大学工学部建築・デザイン学科が、山形の建設会社、株式会社菊池技建（本社/山形市）、章和ホーム株式会社（本社/南陽市）と連携して実施する企画で、今回で3回目を迎える。同学科は建築・デザインに関わる教育・研究を通して、世界を見すえた幅広い視野を持ちつつ、地域固有の文化を理解し、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材の育成を目指しており、コンテストはその一環として行われる。また、地元工務店では、少子高齢化や若者の県外流出により深刻な人手不足に陥っている。今回のコンテストをきっかけに、学生に住宅設計の魅力を感じてもらい、地元の工務店の業務内容を知ってもらうことで、学生の地元定着を期待している。

建築のプロのもとで山形に適した住まいを設計

コンテストでは、学生たちに一定の制約下で山形の気候に適した住みやすい戸建住宅の設計に挑戦してもらった。現場をよく知る地元工務店の指導を受けながら、予算や建築条件などと建物の魅力をどのようにして両立させるか、建築業界の最前線で働くプロのもとで実践力を身につけることも狙いの一つである。このため、作品が顧客の承認を得られた場合は、建築着工し、学生が自らの設計や現場に関わり、実際の現場を経験することができる。それだけに提案者には、地域に住む人が地域の自然環境のもとで、いつまでも快適に住み続けるための独創的なアイデアが求められた。また、地域に新たな価値を生み出す建築物であることも望まれた。

住宅設計コンテスト — 設計条件 — テーマ「山形に住む」



下記の大学の設計製図課題で、山形の気候に適した住みやすい戸建て住宅を設計する。

目的

- ①「住む」とは何かということを考える。
- ②動線や部屋の配置など、住宅設計の基本について学ぶ。
- ③基本設計製図で学んだ製図・模型制作の技法を応用する。

設計条件

- ①周辺環境や日照・通風を考慮する
- ②構造は自由とするが、計画内容にあわせた構造計画をする
- ③敷地の建ぺい率・容積率をもとに規模を設定する
- ④地上最高12mまで、地下を設ける場合は1階までとする
- ⑤敷地は下記の条件で設計する。なお駐車場は1台程度確保する

住民設定 ●4人家族

父・母（30代）、子供（5歳）、子供（3歳）

子育て世代の家族について、現在から将来までのライフステージの変化を想像し、山形に住むということを考慮したときにどのような住宅が提案できるか、四人家族の具体的な職業や趣味などライフスタイルを自由に設定してオリジナルのアイデアを具現化する。

山形市春日町

■用途地域／第一種住居地域
■建ぺい率／60% ■容積率／200%

About 山形大学 工学部建築・デザイン学科

工学基盤分野との融合による

既存の技術にとらわれない

都市・建築空間を創造する。



デザインから工学にわたる幅広い知識と技術を兼ね備え、地域の風土に根ざした建築設計・都市計画を追究、工学分野とも連携し学際領域で新たな価値を生み出す人材を養成します。総合学問である建築の特性を活かすため、工学からデザインまでの幅広い領域を包括した研究・教育を行います。数理系教育、製図法や模型製作、設計課題。絵画、彫刻など芸術分野を含んだデザイン系教育を実施。地方自治体や民間企業などとも連携し、建築設計やデザインした作品を地域の発展に活かす仕掛けを考える教育プログラムを展開しています。高等学校の文系コースから一級建築士になれる数少ない国立大学としても知られています。



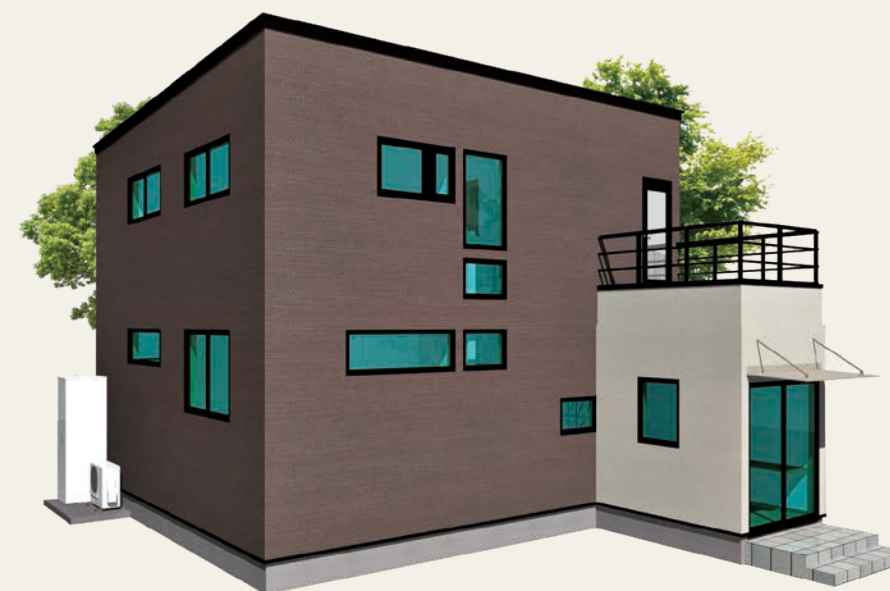
山形大学 工学部 建築・デザイン学科 教授 永井康雄さん

地域の特性を活かし、定住が図れる空間が提案される

コンテストの基本的なテーマは「山形に住む」であるが、与えられた敷地は「旗竿地」である。地域によって特有の自然環境や文化、生活習慣をもつ山形。その中の変形地に、家族がいかに楽しく、快適に暮らし続けることができるか。それは、地域への定着・定住を図ることに結びつき、過疎化が進む全国の地域に一つの施策を提示するものともいえる。審査のポイントは、ある程度の法的制限や基準をクリアしていれば、過度に現実的でなくてもよく、コンセプトから導き出されたデザイン性・機能性・プレゼンテーション力に重点がおかれた。

作品は30点提出され、2回のプレゼンテーションにおいて担当教授と工務店担当者の指導・審査を受け、最終候補10作品が残った。最終審査では、デザインした学生がみずから模型などを使いながら、コンセプトや特徴を説明。その結果、最優秀賞1点、山大賞、菊池賞、章和賞各1点、佳作6点が選ばれた。最優秀賞の本橋のどかさん（2年）の作品は、コロナ禍で何かと閉じこもりがちな環境から抜け出し、趣味を謳歌する楽しい日々の創出をテーマにした作品。開放的な趣味の空間を中心に、遊び場となる多目的室、まちとつながる展示室兼アプローチなど、土地の特徴を活かし、生活と趣味と交流をつかず離れずの距離に配置したアイデアが評価された。このほかにも、従来の住まいづくりに縛られない発想から生まれたユニークな作品が多く提案された。幾つかの作品には、地域での定住・定着を図るうえで必要になるSDGsへの貢献やコロナ後の新しい生活様式への対応が見られた。継続性や社会性も求められる住宅設計の本質を認識していた点で評価したい。

プラン名 アトリエのある我が家。



Room Plan

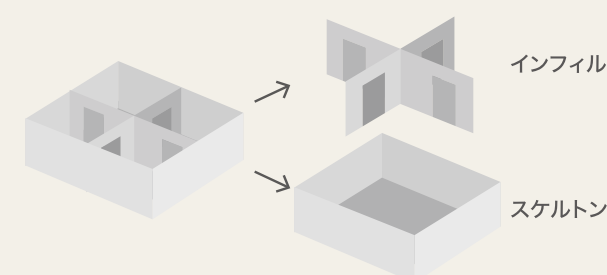
4LDK

+アトリエ×2+吹抜
+サンルーム

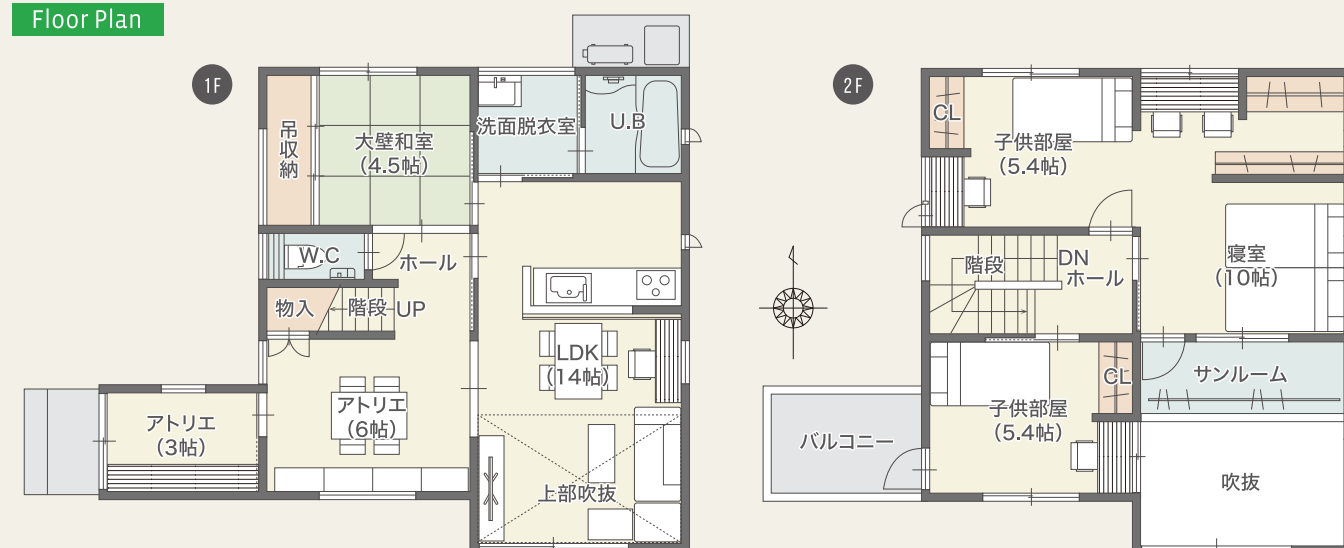
■延床面積 / 109.31㎡(33.0坪)
■1F床面積 / 61.28㎡(18.5坪)
■2F床面積 / 48.03㎡(14.5坪)

Produced by 株式会社 菊池技建

本橋さんのイメージを残し、コスト計画を考慮して趣味を堪能できるアトリエ空間を取り込んだ間取り。ゾーニングを活かしながら世の中のニーズを組み入れて商品化しました。商品として魅力的な空間とスケルトンインフィルの可変性のある子供室と寝室の間取りも長期的には活用しやすい空間になったと思います。



Floor Plan

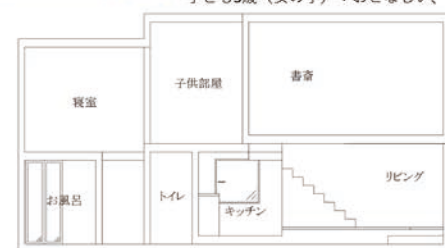


※内観写真はイメージです。

「我が家。」

蒸し暑い夏。雪が積もる冬。新型コロナウイルスの流行。家から出たくない、出てはいけない、というマイナスで強制的なことを考える日々が続いた。だからなんとなくできることを探して、「時間を過ごす」よりは「時間をつぶす」という感覚。そんな閉鎖的な生活と前向きに向き合い、山形のあわただしい気候をも一つの魅力として考えた。暮らしと趣味を融合して「それでも家に居たいから」、「家でコレがしたいから」という趣味との共存をテーマに、長く住みたいと思う、そこに住む家族の“らしさ”を表現した住宅を設計した。

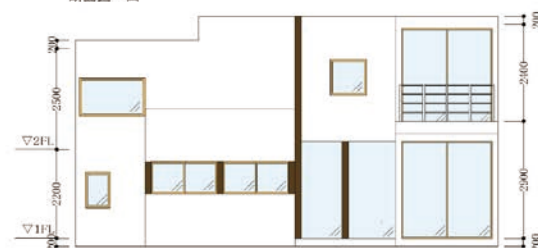
父親：会社員、趣味は読書
母親：専業主婦、趣味は絵を描くこと。
子ども5歳（男の子）：わんぱく、家族思いでよく家族の絵を描く。
子ども3歳（女の子）：おとなしい、読み聞かせが大好き。



断面図 西



断面図 南



立面図 西



立面図 南



趣味との共存をテーマに 家族の“らしさ”を表現した住宅。

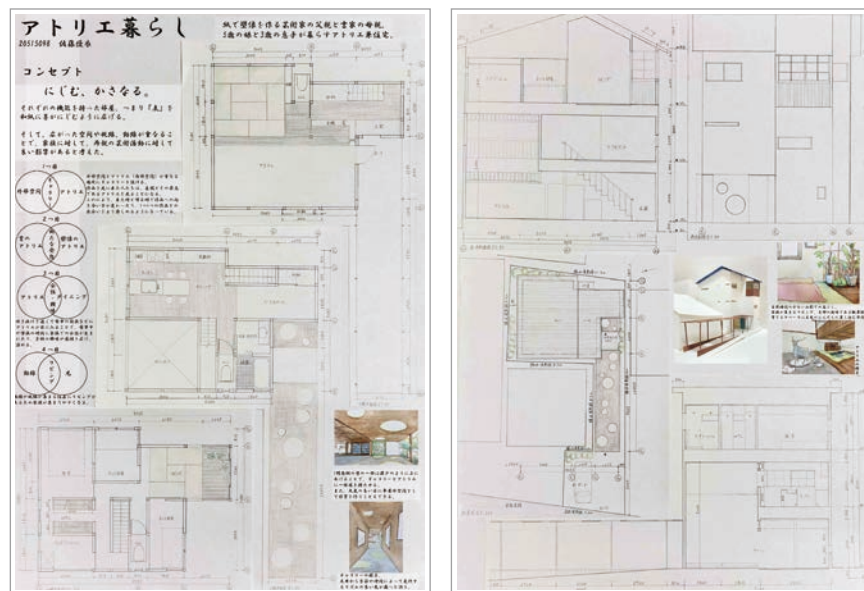
蒸し暑い夏。雪が積もる冬。新型コロナウイルスの流行。家から出たくない、出てはいけない、というマイナスで強制的なことを考える日々。そんな閉鎖的な生活と前向きに向き合い、山形のあわただしい気候をも一つの魅力として捉え、暮らしと趣味を融合して「それでも家に居たいから」、「家でコレがしたいから」という趣味との共存をテーマに、長く住みたいと思う、そこに住む家族の“らしさ”を表現した住宅を設計しました。



本橋 のどかさん
(建築・デザイン学科2年)

住宅設計デザインコンテスト 受賞作品 山大賞 YAMAGATA UNIVERSITY AWARD

HOUSING DESIGN CONTEST 2021 02 | アトリエ暮らし



にじむ、かさなる。
それぞれの機能を持った部屋、つまり「点」を和紙の墨がにじむように空間を構成。広がった空間や視線、動線が重なることで、家族に対して両親の芸術活動に良い影響がでるようにプランニングしました。

佐藤 優衣さん
(建築・デザイン学科2年)



山大賞のプランを工務店がアレンジ

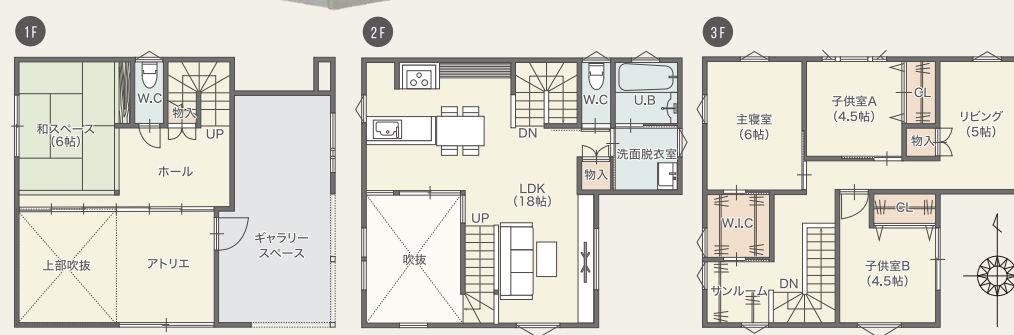
参考モデルプラン

アトリエ暮らし

プラン名 アトリエ暮らし

Produced by 章和ホーム株式会社

様々な作品が飾られたギャラリー。それを見ながらその先にあるアトリエに入る。この動線することで、来た時と帰る時で作品への向き合い方が変わり、その変化を楽しむことができるプランになっています。2階のLDKと1階のアトリエからの吹き抜けを設け、オープンな間取りにすることで家族同士の顔や気配を感じ取ることができ、コミュニケーション豊かな生活空間を実現しています。



Room Plan
4LDK+L
+アトリエ+ギャラリースペース
+吹抜+サンルーム+W.I.C
■延床面積 / 142.23㎡(43.02坪)
■1F床面積 / 42.03㎡(12.71坪)
■2F床面積 / 45.55㎡(13.78坪)
■3F床面積 / 54.65㎡(16.53坪)

住宅設計デザインコンテスト 受賞作品 菊池賞 KIKUCHI AWARD

HOUSING DESIGN CONTEST 2021 03 | 食事の時間を大切にする家族



お料理が好きで、得意な奥さんへのプレゼント。
収納を多く配置し、隠す・飾るが簡単な魅せる収納で映えを意識。また、外に野菜の保存・栽培用のビニールハウスを設け食育にも配慮。あったかいごはんがすぐに食べられるカウンターが家族の団らんを育みます。

小林 花月さん
(建築・デザイン学科2年)

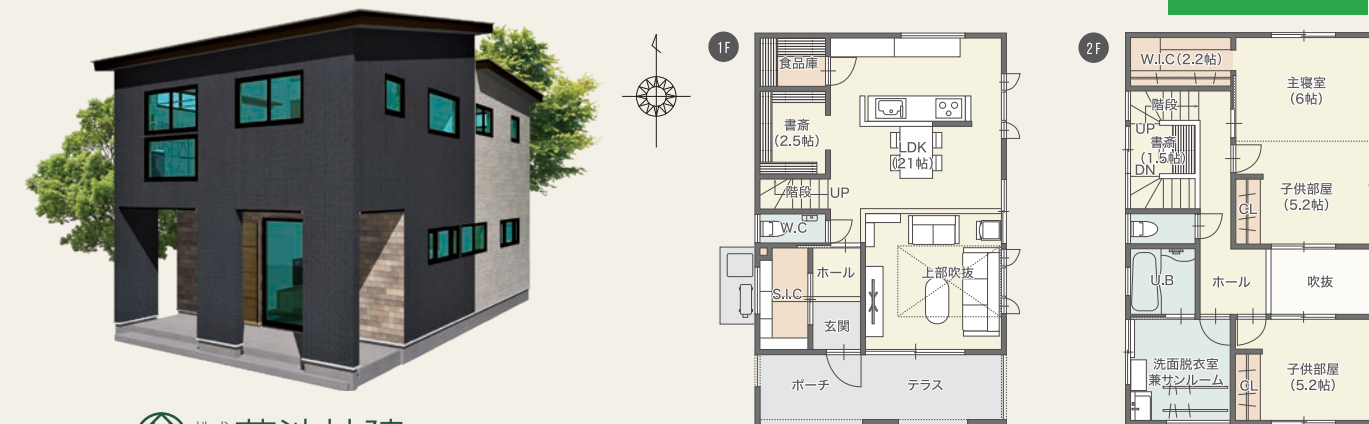


菊池賞のプランを工務店がアレンジ

参考モデルプラン

食事の時間を大切にする家族

プラン名 食事の時間を大切にする家族



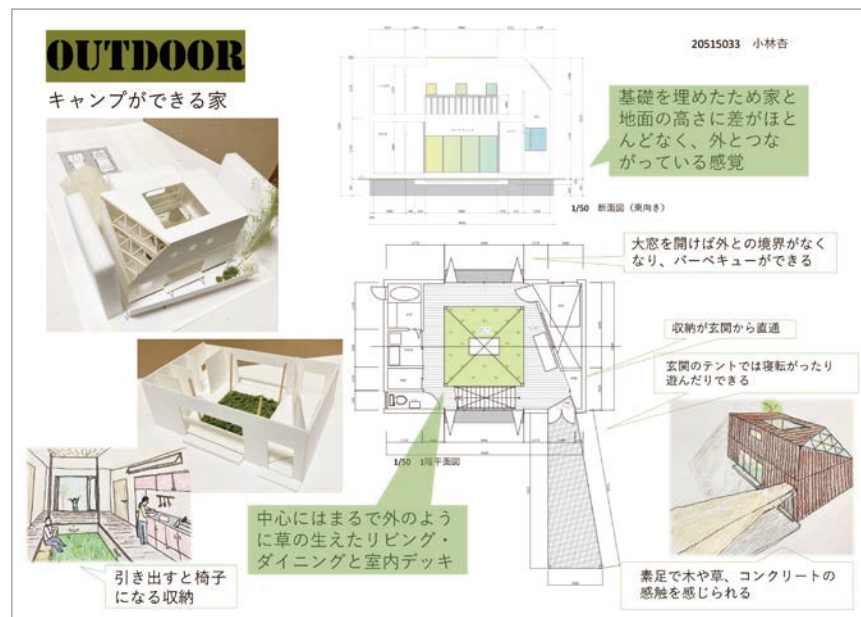
Produced by 株式会社 菊池技建

小林さんの設計を活かした空間に配慮しました。キッチン・ダイニングは広く確保し、食卓の準備を家族でできるスペースにしました。LDKとテラスを大開放し、パーティーも楽しめる設定をつけ加えました。

Room Plan
3LDK
+書斎×2+テラス+吹抜
+食品庫+サンルーム

■延床面積 / 110.97㎡(33.50坪)
■1F床面積 / 52.17㎡(15.75坪)
■2F床面積 / 58.80㎡(17.75坪)

HOUSING DESIGN CONTEST 2021 04 | キャンプのできる家



家にいながらアウトドアライフを。家の中心には外のような芝生を敷き、リビング・ダイニングと室内デッキをしつらえ、バーベキューやキャンプができる空間に。また、アプローチ部分にはテントを設け、寝転がったり遊んだりアウトドアライフを満喫できる家にいながらキャンプが楽しめる住まいです。



■審査会／2021年12月9日(木) ■講評会・表彰式／2021年12月9日(木) ■審査員／●山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授・永井 康雄
●山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授・三辻 和弥 ●山形大学工学部 建築・デザイン学科 助教・濱 定史 ●柳菊池技建 専務取締役・菊池 信二
●章和ホーム(株) 代表取締役・川井 秀智 ■最優秀賞1点 ■山大賞1点 ■菊池賞1点 ■章和賞1点 ■佳作6点

本当のものづくりの楽しさ、難しさに触れて欲しい。 山形大学 工学部 建築・デザイン学科 教授 永井 康雄

コロナ禍のような状態におかれながらも、「生活を楽しむ」ということはどういうことかを三次元で捉え、複眼的な視野を持って形にしてくれました。旗竿地というマイナスの面をプラスに転換していく新しい発想も見られ、非常に面白かったですね。頭の中でイメージして描いた二次元の図面を、実際に三次元にするのは容易ではありません。それだけに、建築を習い始めて間もない自分の図面を実際の空間にする機会に出会ったことは、勉強にもなるし、励みにもなったと思います。また、大学の中だけでなく、企業の方から意見を聞くことは非常に刺激になります。このような機会を通して、ゼロから形にしていけることの楽しさや、本当のものづくりとはどういうことかを学んでいただきたいですね。



山形の暮らしをより楽しくする人を育てたい。 株式会社 菊池技建 専務取締役 菊池 信二

実社会を想定し、お客様目線で審査しました。お客様が求めている条件を満たしているか、付加価値がプラスされているか、作り手の思いが伝わるかなどを総合して評価しました。私たちが普段の仕事で見慣れているものとは違ったユニークな作品も見られ、その独創的な発想は大変参考になりました。今後、窓の熱損失や効率的な採光など、さらに専門的な知識を身につけることで、地域の暮らしをより快適に、楽しくしてくれる住宅が、いろいろ生まれてくるだろうと、わくわくしてきました。私共は地域貢献を第一の目的に企業活動を展開しています。このように地域の大学などとコラボしながら、10年後、20年後を見すえた、本当に快適な山形の暮らしづくりに寄与していきたいと思います。



地域に貢献できる建築家として活躍して下さい。 章和ホーム 株式会社 代表取締役 川井 秀智

テーマの把握、プレゼン能力、模型の完成度、敷地の活用法など、様々な角度から精査しました。どの作品も、生活シーンをイメージして形にする能力の高さ、発想の幅の広さ、3Dキャドを駆使した技術の高さなどで学習の成果がうかがわれ、優劣をつけるのが大変でした。サイズ上でつつまが合わないなど、未熟な部分も見られましたが、これらは何度も自分の手で描き、経験を重ねていくことで修得できます。これを機会に、建築をより好きになっていただき、研究を続け、地域に貢献でききる建築家として活躍することを期待しています。私どもも情報や資料の提供などを通してサポートしていきたいと思いますので、気軽に声をかけてください。



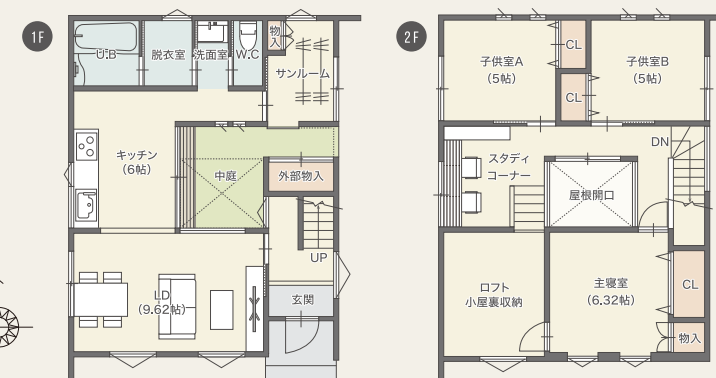
章和賞のプランを工務店がアレンジ

プラン名 キャンプのできる家



Produced by **章和ホーム** 株式会社

バーベキューをしたりテントを張ったりキャンプ気分が味わえる解放感のある庭。時にはリビングガーデンとして、また家族やペットの遊び場としても使えて生活に楽しさと豊かさを与えてくれるプランです。サンルームを1階に設け家事動線にも配慮。2階にはスタディースペースや大きな小屋裏収納もあり機能性にも配慮しています。



Room Plan

3LDK

+スタディコーナー
+サンルーム+小屋裏収納

■延床面積／ 96.08㎡(29.07坪)
■1F床面積／ 49.48㎡(14.97坪)
■2F床面積／ 46.60㎡(14.10坪)

参考モデルプラン
キャンプの
できる家

会社紹介 COMPANY INTRODUCTION



みんなが笑顔になる、よい「いえづくり」。

新築住宅はもちろん、住宅リフォームや修繕工事、アパートマンションなどの集合住宅も。お施主様の理想にしっかり寄り添い「よいいえ」を共につくります。そして「住んでから」が本当のお付き合い。家は家族の安らぎの場所であり、家族が増えたり成長したり、長い時を超えて暮らしの中心となるところです。だからこそ、家を建てる事だけを目標とはせず、家族にとって「本当によいいえとは何か」を考えその先の人生にも寄り添い続ける家づくりにこだわります。



山形市あかねヶ丘1-11-24
TEL: 023-643-7558
https://kikuchigiken.co.jp



小さいころ憧れた「夢ある家」。

小さいころ憧れた「夢ある家」。そんな住まいづくりが私達のかわらぬ想いです。将来の暮らし方、生活設計に配慮し、ものづくりに対し真剣に向き合いお客様のライフスタイルに合わせた質の高い空間を実現するため、1棟1棟丁寧にサポート、ご提案致します。弊社はお客様の視点に徹し地元密着を心掛け、人と人との繋がりを大切に地域NO.1を目指して業務に取り組んでおります。

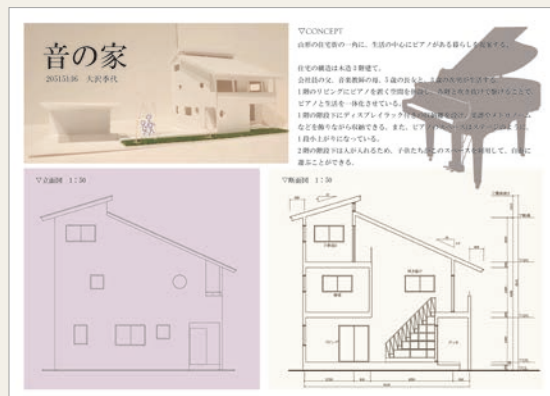


南陽市三間通38-1
☎0120-400-133
https://www.showa-inc.jp



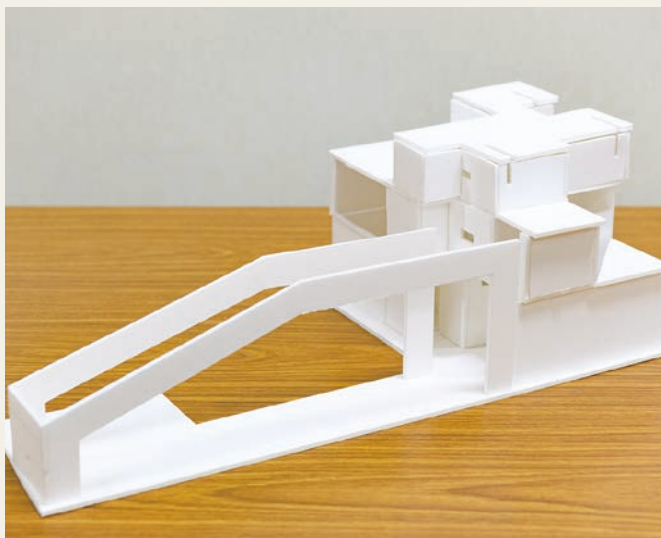
音の家

大沢 季代さん（建築・デザイン学科2年）



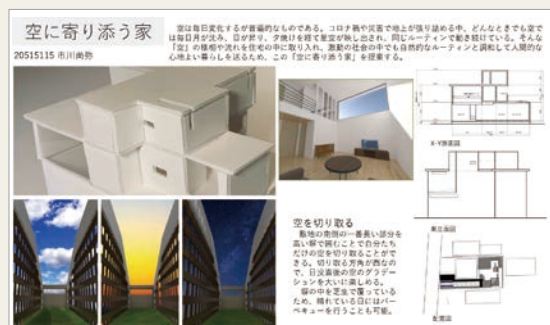
外内内外

千葉 柊汰さん（建築・デザイン学科2年）



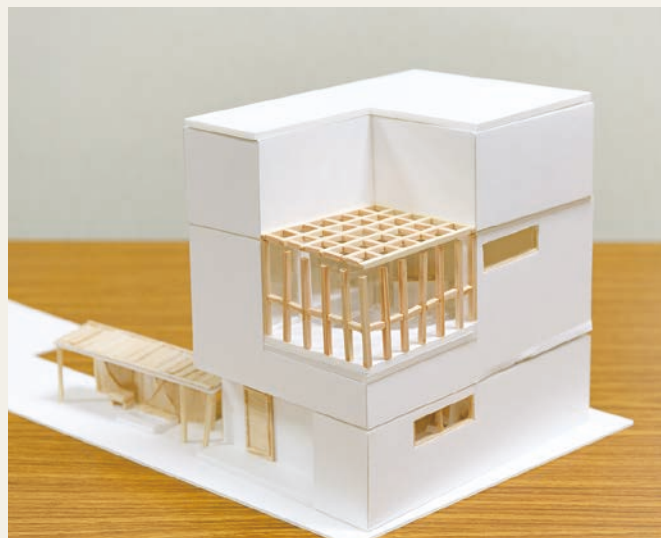
空に寄り添う家

市川 尚弥さん（建築・デザイン学科2年）



Book no HOUSE

小野 桜子さん（建築・デザイン学科2年）



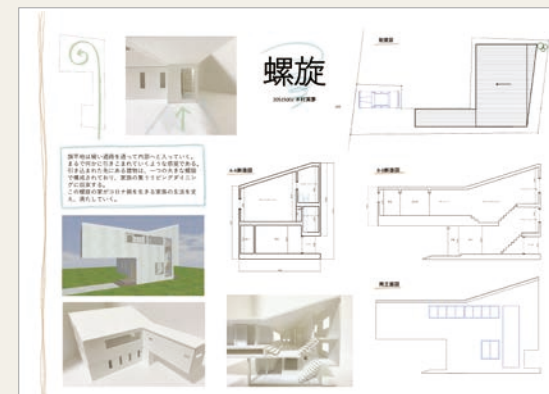
choice

野村 竜生さん（建築・デザイン学科2年）



螺旋

木村 実夢さん（建築・デザイン学科2年）



HOUSING DESIGN CONTEST 2021 05 | 外内内外



外のような内と内のような外の空間。

今回の住宅「外 内内 外」は外壁を二重にすることで「外のような内の空間」・「内のような外の空間」を作り出しました。旗竿地という奥まった特殊な敷地を生かし、住宅から外界までの間に緩衝材が作られ、外出、帰宅時に自然とその世界に気持ちに対応していくようプランニングしました。

千葉 柊汰さん
(建築・デザイン学科2年)



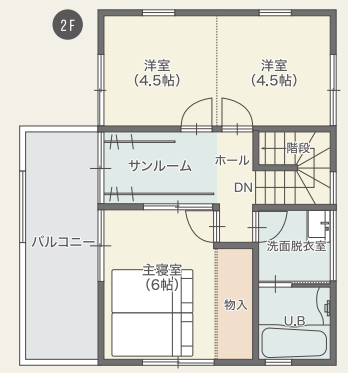
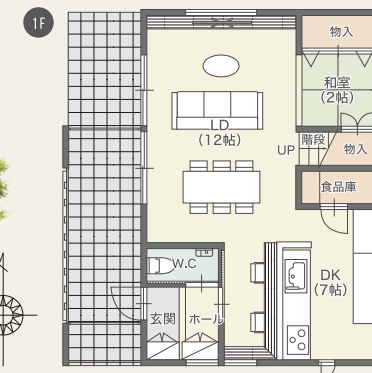
佳作のプランを工務店がアレンジ

プラン名 外部空間とつながるリビング・ダイニング

Produced by
株式会社 菊池技建

参考モデルプラン

外内内外



Room Plan

4LDK
+食品庫+サンルーム

■延床面積 / 89.44㎡(27.00坪)
■1F床面積 / 44.72㎡(13.50坪)
■2F床面積 / 44.72㎡(13.50坪)

外部とのつながりが面白くコストも考慮して外は一つにしました。アウトリビングというテーマが外と内のつながりをよりよくして多目的に活用でき、目隠しも格子で通風と採光を加味したアイデアで、リビングの活用をよりよくできる空間になったと思います。

HOUSING DESIGN CONTEST 2021 06 | BOOK no HOUSE



本を読むことを楽しむための家。

子ども大人も関係なく本を楽しむことができる家。北側に設けたスキップフロアは壁いっぴいの壁面収納をもちろん、各々が好きな時に、好きなように本を楽しむことができます。この「BOOK no HOUSE」は、そんな空間を提供できる家です。

小野 桜子さん
(建築・デザイン学科2年)



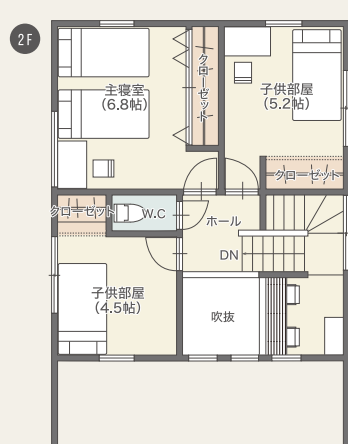
佳作のプランを工務店がアレンジ

プラン名 BOOK no HOUSE

Produced by
株式会社 菊池技建

参考モデルプラン

BOOK
no
HOUSE



Room Plan

3LDK
+書庫+吹抜
+ウッドデッキ

■延床面積 / 89.43㎡(27.00坪)
■1F床面積 / 46.37㎡(14.00坪)
■2F床面積 / 43.06㎡(13.00坪)

設計者の案をもとに、よりコンパクトでコストを抑えながらも、スキップフロアと書庫を中心に配置することで読書を通じて自然に家族のつながりを持てるような設計をしました。また、読書スペースとして、LDK、スタディスペース、ウッドデッキなどを想定し、高さ方向や内と外の違いを出すことで、適度なプライバシーを守りながらも、お互いの気配を感じられるような空間作りを意識しました。

HOUSING DESIGN CONTEST

Other

住宅設計デザインコンテスト

その他応募作品

